

令和2年度一般会計当初予算の特徴

1. 当初予算額 615億7,600万円（対前年度当初比+ 12.5%）

※令和元年度当初予算額547億5,200万円
ただし、新図書館、(仮称)こども未来館、小牧南小学校、市営駐車場の整備による影響額
(約63億6,800万円)を除くと4億5,600万円(0.8%)の増額となります。

2. 市税収入 319億7,702万円（対前年度当初比▲ 1.5%）

○ 主な要因は下記のとおり

- ・個人市民税 対前年度当初比 + 1.1%
- ・法人市民税 対前年度当初比 ▲ 23.6%
- ・固定資産税 対前年度当初比 + 2.5%
- ・都市計画税 対前年度当初比 + 1.1%

3. 歳入予算の特徴

○ 固定資産税が家屋の新增築等により増額となったものの、法人市民税が一部国税化の影響、企業の収益動向等により減額となり、市税全体では前年度比で減額となりました。

また、国庫支出金が、社会資本整備総合交付金の増などにより増額、繰入金が図書館建設基金繰入金の増などにより増額、市債が教育債の増などにより増額となりました。

- ・国庫支出金 対前年度当初比 +31.9%
- ・繰 入 金 対前年度当初比 +76.2%
- ・市 債 対前年度当初比 +421.3%

4. 財源構造

- ・一般財源比率 62.3% (▲6.7 ポイント (前年度当初 69.0%))
- ・特定財源比率 37.7% (+6.7 ポイント (前年度当初 31.0%))

- ・自主財源比率 68.4% (▲4.6 ポイント (前年度当初 73.0%))
- ・依存財源比率 31.6% (+4.6 ポイント (前年度当初 27.0%))

5. 歳出予算の特徴

○民生費が、対前年度当初比 9.6%、19億8,400万円余の増となりました。

主な要因は、(仮称)こども未来館施設整備事業の増などによります。

○教育費が、対前年度当初比 70.6%、53億3,500万円余の増となりました。

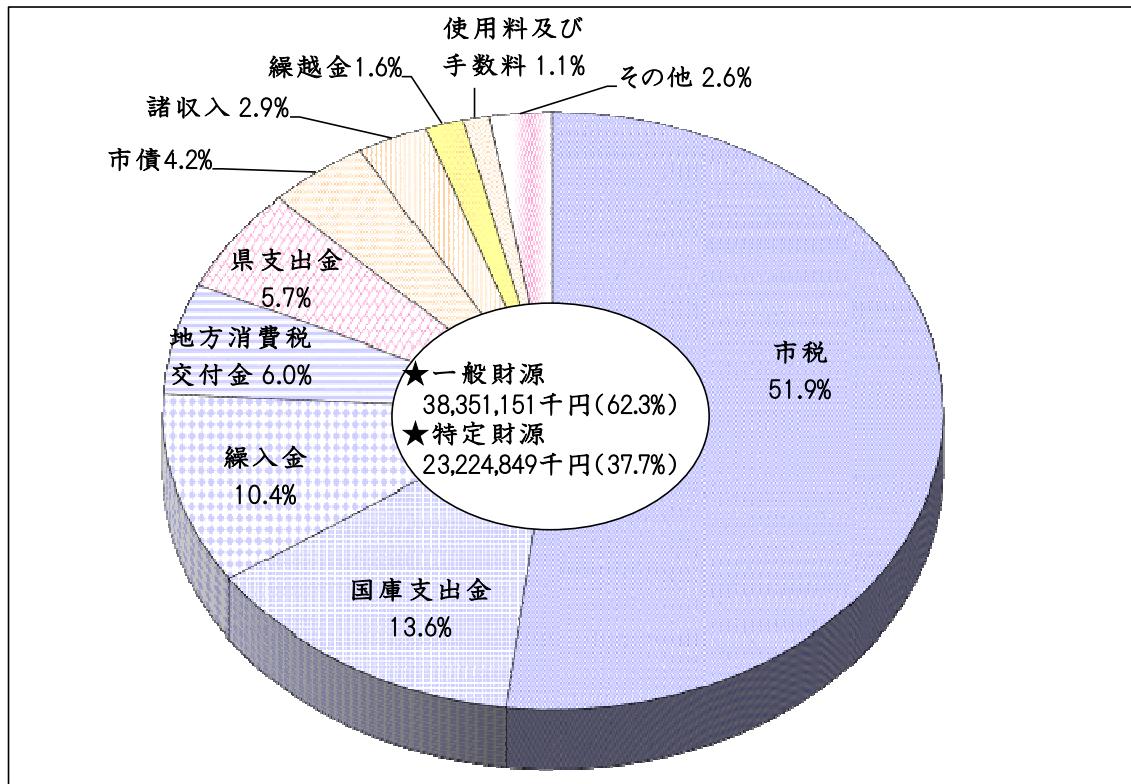
主な要因は、図書館施設建設事業、小牧南小学校改築事業の増などによります。

○公債費が、対前年度当初比 21.9%、3億5,600万円余の減となりました。

主な要因は、市債償還元金の減などによります。

令和2年度小牧市一般会計当初予算

歳入総額 61,576,000千円



歳出総額 61,576,000千円

